

財務指標（連結）の調整表

1. EBITDA、EBITDAマージン

（単位：億円、％）

	2006年度通期（予想）	2005年度通期	2004年度通期
a. EBITDA	16,010	16,068	16,257
減価償却費	7,530	7,371	7,354
有形固定資産売却・除却損	380	360	457
減損損失	-	11	604
営業利益	8,100	8,326	7,842
営業外損益（費用）	50	1,197	5,041
法人税等	3,270	3,414	5,277
持分法による投資損益（損失）	-	4	129
少数株主損益（利益）	-	1	1
b. 当期純利益	4,880	6,105	7,476
c. 営業収益	48,380	47,659	48,446
EBITDAマージン (=a/c)	33.1%	33.7%	33.6%
売上高当期純利益率 (=b/c)	10.1%	12.8%	15.4%

（注）当社が使用しているEBITDA及びEBITDAマージンは、米国証券取引委員会（SEC）レギュレーション S-K Item 10(e)で定義されているものとは異なっております。従って、他社が用いる同様の指標とは比較できないことがあります。

2. フリー・キャッシュ・フロー（特殊要因及び資金運用に伴う増減除く）

（単位：億円）

	2006年度通期（予想）	2005年度通期	2004年度通期
フリー・キャッシュ・フロー（特殊要因及び資金運用に伴う増減除く）	2,800	5,109	10,036
特殊要因（注1）	2,200	-	-
資金運用に伴う増減（注2）	-	1,490	4,003
フリー・キャッシュ・フロー	600	6,599	6,033
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,280	9,511	5,783
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,880	16,109	11,816

（注1）特殊要因とは、期末日が金融機関の休業日であることによる電話料金未回収影響額です。

（注2）資金運用に伴う増減とは、期間3ヶ月超の資金運用を目的とした金融商品の取得、償還及び売却による増減です。2006年度通期（予想）の資金運用に伴う増減は予想が困難であるため見込んでおりません。